総社市立秦小学校 **学校だより** 令和５年度　第２５号
９月２５日（月）

☆ 『幸せな時って何ですか。』 ☆

　４年生の教室に入ったとたん、担任の先生から質問されました。『じゃあ最後は校長先生に聞いてみましょう。校長先生の幸せな時って何ですか？』

　『ウッ。なんだなんだ、この状況は。』瞬時に私の思考シナプスが交錯し始めます。黒板には子どもたちが一通り発言した形跡が残されています。社会福祉協議会の方のリードで、とっても真剣に、そして穏やかな雰囲気で学習が始まっている様子も感じられます。（ここはボケは必要ないぞ。でもちょっと、子どもたちとは違うことを答えたい・・・・・）２～３秒の間。『温かいお風呂に入っている時です。』答えとしての是非は分かりませんが、私の頭に中に出てきたのは幸せ＝必要という言葉でした。

　東日本大震災の直後、大変な被害の状況の中、レポーターがインタビューしていました。『今一番必要なことは何ですか』　被災した方が答えます。『温かいお風呂に入りたいです。お風呂に入ると、もう一度がんばろうって心も体もリセットできるんです。』映像には自衛隊の人たちが用意した簡易の銭湯が映し出されていました。レポーターは続けます。『決して温泉施設のような立派なものではありませんが、人々が求めているものは　今これなのです。』 テレビを見ながら、日常のくらしをすべて奪われてもなお、もう一度日々のくらしを立て直そうとする「人の力強さ」に感動しました。

　幸せとはなにか。福祉の原点から4年生が学び始めました。『みんなの幸せを実現する』ために必要なことを考え続けます。たくさんの体験を、様々な立場の方から教えていただけるようで、子どもたちはとても楽しみにしています。

　4年生のみなさん、先日の体育館での学習、残暑きびしく、汗をふきながら一生懸命にメモや質問をしている様子がかっこよかったよ。